

フリーウイング羽子板セット 取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

用途

■ 斜め梁と受け梁、登り梁と受け梁との接合に使用します。

特長

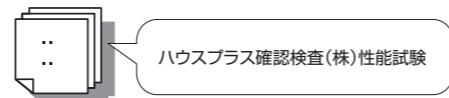
- 斜め梁90°~163°の角度に自在に対応可能です。
- 登り梁0°~60°[0寸~17.3寸]の角度に自在に対応可能です。

セット構成

- フリーウイング×1個、ビス羽子板金物・II×1個、ビスYPR-85(Mブロンズ)×8本、全ねじボルト(M12×200)×1本、丸鋼ナット×1個、M12ナット×1個
- ※斜め梁の角度が151°~163°の場合は、別途両ねじボルトM12×300をご用意ください。

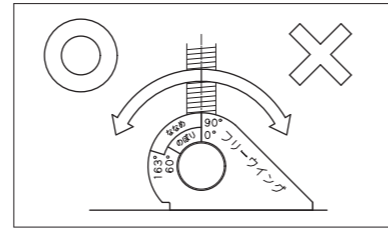
注意事項

- 本体の取付け向き(斜め梁:横向き、登り梁:縦向き)にご注意ください。
- 大入れ蟻掛け仕口の加工を行った上でご使用ください。
- 斜め梁、登り梁に対して上面・側面から見て、ボルトが平行になるように設置してください。
- 斜め梁に使用する場合、受け梁と斜め梁は105mm×105mm以上にしてください。
- 登り梁に使用する場合、受け梁と登り梁は105mm×150mm以上にしてください。
- 斜め梁の角度が151°から163°の場合、付属の全ねじボルトとは別途両ねじボルトM12×300以上をご使用ください。(強度区分4.6以上をご使用ください)
- 使用範囲以外の角度では使用しないでください。
- ボルトの掛かりが足りないと所定の耐力を確保できません。
- 斜め梁、登り梁の側面から近い場所へ設置する場合、150mm以上のビットの使用をお勧めします。
- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- ケガに注意!!手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
- 釘を打ち込む際にも、軍手や手袋などははめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
- 金物は所定の位置に取付けてください。
- 金物の干渉に注意してご使用ください。
- 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防錆・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。

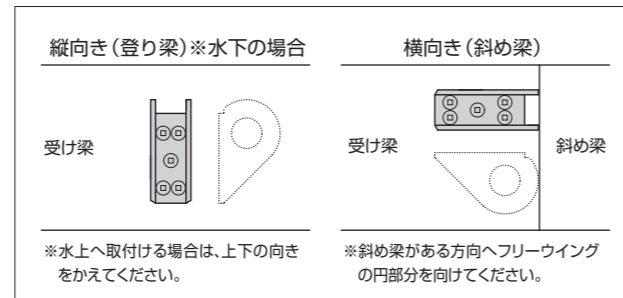


仕様	短期基準接合引張耐力(Pot)
斜め梁(90°~163°)	9.0kN
登り梁(0°~60°)	7.5kN

<設置時のボルト可動方向>



<取付け向き>



施工方法

<斜め梁>

- ① 斜め梁使用例の金物取付け位置をご確認の上、受け梁にフリーウイング(横向き)を合わせて、付属のビスで接合します。その際、全ねじボルトを上面・側面とも梁と平行になるように取付けます。(※1)
- ② 丸鋼ナットをフリーウイングの孔へ差し込み付属の全ねじボルトを取付けます。(※2)
- ③ 全ねじボルトを斜め梁と平行にし、ビス羽子板金物・IIを取付けM12ナットで締めます。(※3)

※1 推奨の位置決め

フリーウイング羽子板セットをすべて組み立てた状態で設置場所に当ててください。梁とボルトの平行を確認し、受け梁側へビスの墨出しをすると簡単に位置を出すことができます。

※2 ボルトの出について

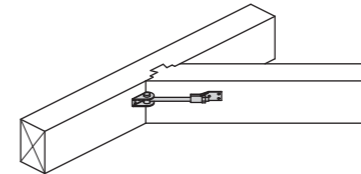
丸鋼ナットから3山程度ボルトが出るよう施工してください。またボルトを出しすぎるとビス頭との干渉により角度調整ができない場合がございますのでご注意ください。

※3 取付け位置について

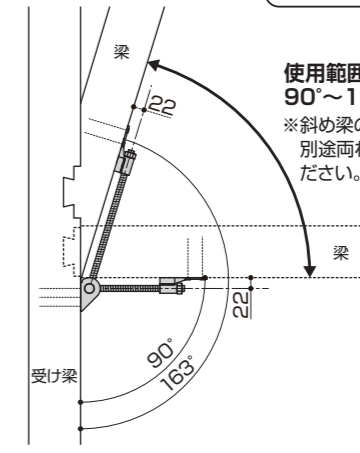
ビス羽子板金物・IIは全ねじボルトの端部へ取付けてください。M12ナットよりネジ山が3~5山程度出るよう施工してください。

(斜め梁使用例)

大入れ蟻掛け仕口の加工を行った上でご使用ください。



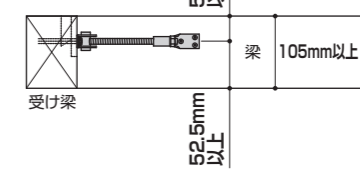
上面



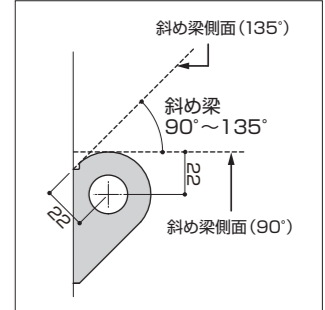
全ねじボルトは、側面・上面とも斜め梁と平行になるように取付けてください!

使用範囲 90°~163°
※斜め梁の角度が151°~163°の場合は、別途両ねじボルトM12×300をご用意ください。

側面



●斜め梁の位置決めに関して



※斜め梁が90°~135°の場合
フリーウイングの外円部が斜め梁にあたるように設置すると位置決めが簡単です。

※斜め梁が135°以上の場合
施工方法の※1を推奨します。

<フリーウイング羽子板セットの取付け手順>

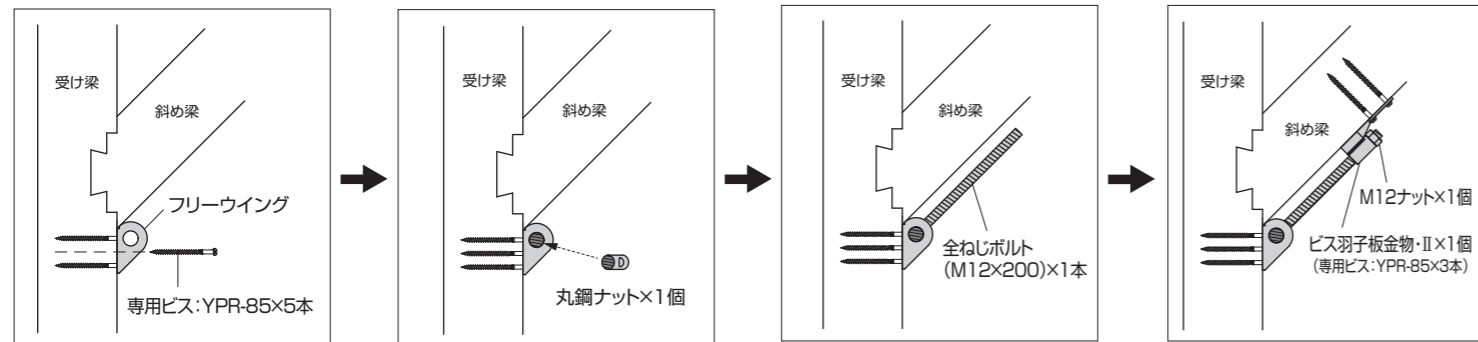
(斜め梁の場合) ※フリーウイングの取付け向きにご注意ください。

① 受け梁へフリーウイングを専用ビスにて取付けます。

② 丸鋼ナットをフリーウイングの孔へ差し込みます。

③ 丸鋼ナットへ全ねじボルトを取付けます。

④ 全ねじボルトにビス羽子板金物・IIを通し、専用ビスでビス羽子板金物・IIを取付けます。その後、M12ナットを取付けます。



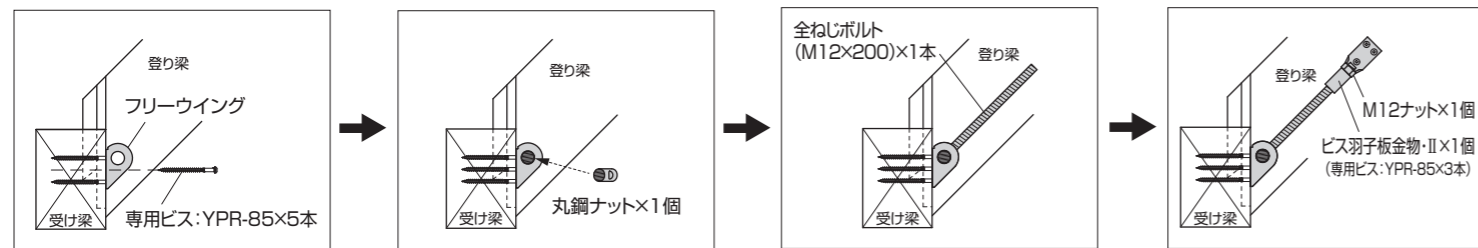
(登り梁の場合) ※フリーウイングの取付け向きにご注意ください。

① 受け梁へフリーウイングを専用ビスにて取付けます。

② 丸鋼ナットをフリーウイングの孔へ差し込みます。

③ 丸鋼ナットへ全ねじボルトを取付けます。

④ 全ねじボルトにビス羽子板金物・IIを通し、専用ビスでビス羽子板金物・IIを取付けます。その後、M12ナットを取付けます。



<登り梁>

- ① 登り梁使用例の金物取付け位置をご確認の上、受け梁にフリーウイング(縦向き)を合わせて、付属のビスで接合します。(※1)
- ② 丸鋼ナットをフリーウイングの孔へ差し込み付属の全ねじボルトを取付けます。(※2)
- ③ 全ねじボルトを登り梁と平行にし、ビス羽子板金物・IIを取付けM12ナットで締めます。(※3)

※1 推奨の位置決め

フリーウイング羽子板セットをすべて組み立てた状態で設置場所に当ててください。梁とボルトの平行を確認し、受け梁側へビスの墨出しをすると簡単に位置を出すことができます。

※2 ボルトの出について

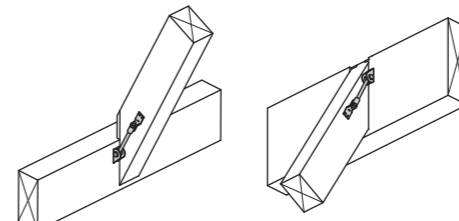
丸鋼ナットから3山程度ボルトが出るよう施工してください。またボルトを出しすぎるとビス頭との干渉により角度調整ができない場合がございますのでご注意ください。

※3 取付け位置について

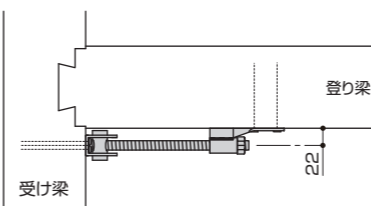
ビス羽子板金物・IIは全ねじボルトの端部へ取付けてください。M12ナットよりネジ山が3~5山程度出るよう施工してください。

(登り梁使用例)

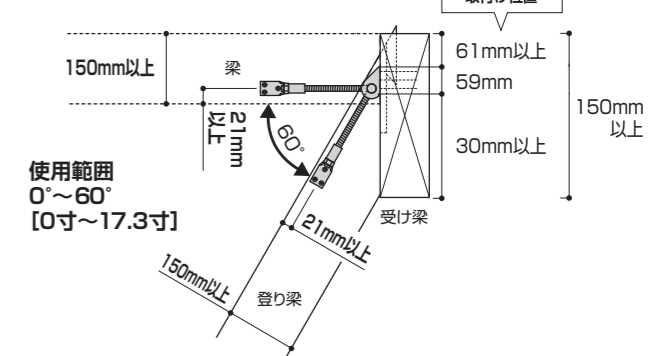
大入れ蟻掛け仕口の加工を行った上でご使用ください。



上面

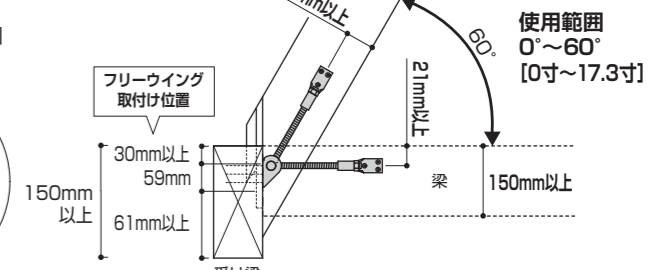
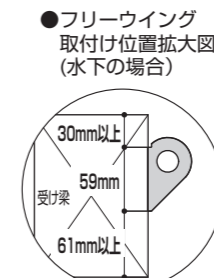


側面



全ねじボルトは、側面・上面とも登り梁と平行になるように取付けてください!

使用範囲 0°~60° [0寸~17.3寸]



BXカネシン株式会社

本社 / 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸4-19-12 Tel.03-3696-6781 Fax.03-3696-6770
技術的なご相談は / BXカネシンCSセンター Tel.03-5671-1077